



## 既知の動作と制限事項

- [既知の動作と制限事項 \(1 ページ\)](#)

### 既知の動作と制限事項

現在、IMM 移行ツールにはいくつかの制限があり、以下をサポートしていません。

- UCS Central によって管理される UCS Manager ドメイン（グローバル サービスプロファイル テンプレートのサポートなし）。
- サービスプロファイルは、デフォルトでは変換されません。詳細な構成設定を編集して、サービスプロファイルの変換を有効にすることができます。詳細については、「[付録B：変換オプション](#)」を参照してください。

このような場合、サービスプロファイルのアイデンティティ（IP/IQN/MAC/UUID/WWNN/WWPN）は保持されません。

- VMQ、usNIC、iSCSI vNIC などの高度な LAN 接続機能の変換。
- ストレージ ポリシーでのブート フラグの設定
- サーバー プールの変換は、IMM 移行ツール、リリース 1.0.2 以降でのみサポートされています。
- 次のような具体的なポリシーの転換
  - 特定のブート ポリシー
  - 特定のダイナミック vNIC 接続ポリシー
  - 特定の Serial over LAN ポリシー
  - 特定のローカル ディスク構成ポリシー
  - 特定の vMedia ポリシー
- 役割別のアクセス制御機能の変換（ユーザー、役割、ロケール、組織のアクセス許可、LDAP、RADIUS、TACACS）



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。